

# 学級活動指導案

実施日 平成24年9月25日

6年〇組

指導者 長期研修員 河原 賢志

## 1. 題材 「大切にしているもの」

内容(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全 ウ望ましい人間関係の形成  
人権感覚育成プログラム(自作)より

## 2 題材について

### (1) 児童の実態

本学級の児童は、授業に集中して取り組むことができ、協力して活動することができる。一部に自己中心的な言動をする児童がいるが、一方、誰にでも声をかけて雰囲気をよくしたり、まとめたりできる児童もいるため、学級全体としてまとまりのある学校生活を送ることができている。担任教師と児童との関係も良好である。

しかし、個に目を向けてみると、「クラスの人から認められることがありますか。」に対して「とてもそう思う」「少しそう思う」と答えた児童は53%に止まったことから、自己有用感や他者からの受容感を高めるための手立てを講じる必要があると考えられる。そのためには、児童が学級集団の一員としての心構えや、互いをより理解し合うこと、認めたり認められたりする喜びを体感することなどが効果的であると考えられる。

### (2) 題材設定の理由

本題材は、小学校学習指導要領特別活動〔学級活動〕2内容(2)「日常生活や学習への適応及び健康安全」の「ウ 望ましい人間関係の形成」に基づいて設定したものである。また、「はばたく群馬の指導プラン」で示された「豊かな心」を育てる3つの心のうち、「向上する心」；「自分のよさに気付き、伸ばそうとすることができる」資質・能力や「大切にすること」；「学校の生活をよりよくするために、諸活動に取り組むことができる」資質・能力を育むものである。

人間関係づくりが苦手な現代の子ども達は、ややもすると学級内においても親しい友達との狭い関係に止まってしまう傾向がある。また、自他の違いを受け入れることに慣れておらず、相手を否定したり攻撃したりし、トラブルが起こってもうまく解決できない場合も見られる。

そこで、本題材では、学級の人間関係を、共に事を行う間柄の「仲間」としてとらえ、親しい間柄である「友達」と区別して考えることにより、親しさだけで学級の人間関係を考えることなく、誰に対しても、日ごろから同じように接することの大切さを考えられるようにしていきたいと考えた。同時に、人間関係づくりのスキルを体験し、その有用性を実感することにより、気持ちよく生活できることの価値を指向できるようにしたいと考えた。学習活動は、基本的に二者関係の理解を深める活動を充実させ、その後四者関係を深める活動へと広げていき、人間関係を強固なものにしていきたいと考えている。

また、計6時間の授業を人権教育の視点から見た「直接的指導」「間接的指導」「常時指導」に位置づけて設定するとともに、各指導相互に内容が連動し、内容も日常の接し方からいじめが起こった場合の考え方までを想定し、児童が対応して生活できるものとした。

授業における感性・知性・技能の育成を目指した学習が、常時指導場面での判断力・実践力を必要とする活動へとつながるとともに、学習した事を常時活動に生かしていくことのよさを、児童に浸透させていくことができると考え、本題材を設定した。

## 3 指導のねらい

授業時間(直接的指導・間接的指導)において、相手らしさを理解したり、関わり方を学んだりする活動を行うことと、学んだ内容を常時指導場面で生かすことを、併せて実践することを通して、自他共に尊重して生活することが、安心できる人間関係に繋がることを実感を伴って理解できるようにする。

#### 4 学級活動（2）の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
望ましい人間関係について学んだ考え方やスキル等を、実際の生活の中で生かそうとしたり、広げて考えようとしていたりしている。	望ましい人間関係について学んだ考え方やスキル等を、実際の場面で上手に活用したり、次の目標をもったりしている。	望ましい人間関係のための考え方やスキル等について、実際の生活の中でどのように生かせるかを理解している。

#### 5 指導計画

月 日	教科等	ねらい	主な学習内容
9月 25日(火)	学級 活動	コミュニケーションを通して、相手が大切にしているものや、自分が大切にしているものを尊重しようとする態度を育てる。	○自分が大切にしているものを書き出し、友達との共通点・相違点を知る。 ○活動の感想や、相手に対する発見や気づきを伝え合う。
9月 27日(木)	学級 活動	相手の話そうとすることを心で受け止めながら聞き、相手を尊重し、温かい雰囲気づくりをしようとする態度を育てる。	○様々な聴き方を体験し、感想をまとめる。 例) 相手の目を見て聴く。うなずいて聴く。無視して聴く。合いの手を入れて聴く。
10月 2日(火)	学級 活動	温かい言葉やしぐさ(=心の栄養)の価値を理解し、実践に向けて主体的に準備ができる。	○温かい気持ちになったり、嬉しくなったりする言葉やしぐさ(=心の栄養)を具体的に考える。 ○出された心の栄養の中で、自分ができるものを、自分用のワークシートに書き出し、実践に活用する。
10月 4日(木)	学級 活動	クラスは「仲間」であることや、「誰に対して」「日頃から」仲間として接することの理解を通して、良い関係を築こうとする態度を育てる。	○仲間の関係にある集団を具体的に考え、共通の特徴を考える。 ○クラスは学級目標に向かうなど、ともに事を行う仲間であることを理解する。
10月 15日(月)	学級 活動	自分も相手も大切にしたい方のよさを理解し、自分なりに言い方を考えようとする態度を育てる。	○言葉の語尾を変え、相手に与える印象が大きく変わることを、具体例をもとに考える。 ○具体的な場面設定で、相手に対し自分の気持ちをどのような言葉にすべきかを考える。※自分も相手も大切に
10月 18日(木)	道徳	いじめを個人の問題ではなく仲間の問題として捉え、自分達にできることを、学級目標(人間関係に関するもの)をもとに考えようとする視点や勇気を育てる。	○「クラスにいじめが起こったら自分に何が出来るか」をテーマに具体策をグループで考える。 ○具体策がうまくいかなかった時も、「クラスは仲間」であり、仲間に戻す方向で具体策を考える。

#### 6. 本時の学習

(1) ねらい コミュニケーションを通して、相手が大切にしているものや、自分が大切にしているものを尊重しようとする態度を育てる。(直接的指導から常時指導へとつながる指導)

(2) 準備 ワークシート①(個人記入用)、ワークシート②(ペア記入用)、ワークシート拡大図

(3) 本時の展開

過程	学習活動(時間)	主な発問(予想される児童の反応)	支援及び指導上の留意点
導入	1. アイスブレイキングをする。 ジャンケン→勝者→教師から名刺をもらう。 2. 本時のめあてを知る。 大切にしているものを紹介し合い、自分や相手を理解し合える時間にしましょう。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間目なので、教師の名刺を渡し、気持ちが和むように始めたい。</li> <li>・大切にしているものが思いつかない児童が不安に思わないように、少しずつ気づいていけばよいことを伝える。</li> </ul>
展開	3. 自分が大切にしているものを考える。 4. 隣の席同士で発表し合う。 5. 結果を見て、気づいたことを伝え合う。 6. 相手の気づいたことを聞いて、自分の思ったことを書き、発表する。 7. ワークシートの見方を聞き、理解を深める。 8. 大切にしているものをより深く考え、ワークシートに付け足す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに、自分が大切にしているものを書いてみましょう。(児童の反応)              ゲーム、カード、家族、兄弟、趣味              やさしさ、頑張る気持ち</li> <li>・隣の人に発表し、相手の人が「自分もそうだ」と思ったら真ん中のゾーンに、「自分は違うな」と思ったら、自分のゾーンに貼ってください。</li> <li>・結果を見て「分かる」と思ったことと「意外だ」と思ったことを書き、伝え合きましょう。(児童の反応)              ・同じものを大切にしているのだな。              ・自分のことは分かってないのだな。              ・相手のことは分かってないのだな。</li> <li>・自分のゾーンにあるものは、「分かってもらえたら嬉しいな」というものです。相手のゾーンにあるものは「分かってほしい」とすべきものです。互いに理解し合えるといいですね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「目に見えるもの」と「目に見えないもの」の区別についてはとらわれ過ぎないように伝える。</li> <li>・自由にたくさん考えられるように助言する。</li> <li>・同じものが多くても、違うものが多くても意味があることを伝える。</li> <li>・友達の発表は、しっかり聞き、否定しないことがマナーであることを伝える。</li> <li>・意外だと思ったのは、まだ相手の姿や内面を理解していないのかもしれないということ、児童の言葉からまとめる。</li> </ul>
終末	9. 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしさを大切に、相手らしさを分かろうとすることは、クラスにとってとても大切なものの見方です。クラスの人間関係すべてのもとになります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「分かってもらえたら嬉しいな。」「分かってほしい。」という両者の考え方が人間関係の中で自然と表れることは、とても高い価値であることが伝わる内容になるように話す。</li> </ul>

5 評価

- もっと相手の姿や考え方を積極的に受け入れ、理解しようとしている。〈ワークシート〉

6 板書計画

大切にしているもの

**大切にしているもの**

感想

- 自分のことは知られてないのだな。
- 相手のことを知らなかったな。
- 同じことを大切にしているのだな。

だれもが

分かってもらえたらうれしいな。

と思っている。

自分も、相手のことを

分かろう。

とすることがとても大切。

そして、自分のことをもっと

分かってもらおう。

としていいのだ。

〈第2時指導案〉

# 学級活動学習指導案

実施日 平成24年9月27日

6年〇組

指導者 長期研修員 河原 賢志

1. 「人の話はどこで聞く？」
2. ねらい 相手の話そうとすることを心で受け止めながら聞き、相手を尊重し、温かい雰囲気づくりをしようとする態度を育てる。〈常時指導へとつながる指導〉
3. 準備 ワークシート「人の話はどこで聞く？」
4. 本時の展開

	学習活動	主な発問(予想される児童の反応)	支援及び指導上の留意点
導入	1. アイスブレーキングをする。 ・かわごとに「バースデー・ライン」をする。 2. 本時の学習活動を知る。	「バースデー・ライン」をします。バースデー・ラインというのは言葉を発しないで、誕生日順に並ぶゲームです。指で数字を示すなどのジェスチャーはOKです。 ・よい聴き方について学び、そのよさを考えましょう。	・楽しい雰囲気になるように元気に行く。 ・話すことに抵抗のある児童が半数いるので、話し方は上手でなくてもよいことを伝えてから始める。
展開	2. ペアで話す・聴くの体験をする。 <b>人の話はどこで聞く？</b> <small>4年 組 氏名</small> 1. 相手が自分の方を見ず、何も言わずに聞いたときの気持ち 2. うなずきや合いの手を入れて聞いてもらったときの気持ち 3. ほめ言葉を入れて聞いてくれたときの気持ち 4. 今日の学習で大切だと思ったのはどんなことですか。	①自分の方を向いて聴いてもらったときの気持ちを書き、伝え合ひましょう。 —今朝の出来事— (ちゃんと聴いてくれていてうれしかった。) ②自分の方を見ず、何も言わず聴かれたときの気持ちを書き、伝え合ひましょう。 —昨日の出来事— (自分に関心がないようでさびしかった。) ③うなずきや合いの手を入れて聴いてもらったときの気持ちを書き、伝え合ひましょう。 —わたしが大切にしている〇〇— (気持ちまで聴いてくれている気がした。) ④ほめ言葉を入れて聴いてくれたときの気持ちを書き、伝え合ひましょう。 —わたしが大切にしている〇〇— (自分のことを認めてくれている気がした。)	・四人の班で二人ずつペアをつくり行う。活動ごとにペアを変えて行う。 ・指示に沿って行う。 ・傾聴に関わりの深いコメントを取り上げる。 ・聴くということが、相手にとって、とてもいい気持ちになることを押さえる。 ・相手の人が自分のことを話してくれたことは、心を開いてくれたことになることを伝える。 ・相手が話してくれた内容は自分を信頼して話してくれたことであることを押さえる。
	4. 今日の学習を振り返り、ワークシートに記入する。	・今日学んだことをふまえて、ワークシートに感想を書きましょう。	・時間が許せば班のメンバー同士で感想を発表合う。本時で学習したスキルをふまえて聴く。
終末	5. まとめをする。(話を聴く)	・聴いてもらえたときに「嬉しかった。」と感じたことは重要です。褒める一言を付け足すことでとても温かな空気が生まれます。空気はつくれるものなのです。	

5. 評価

- ・相手の話そうとすることを心で受け止めながら聴くことの大切さについて理解している。〈ワークシート〉

6. 板書計画

<p>人の話はどこで聞く？</p> <p>〈前回のポイント〉 わかってもらえたらうれしいな。 わかろう。</p> <p>〈今日の予告〉 話題 ・今朝の出来事 ・昨日の出来事 ・私が大切にしている〇〇</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ <b>相手を見ない</b><ul style="list-style-type: none"><li>・ちゃんと聞いてくれない気がした。</li><li>・さびしかった。</li></ul></li><li>○ <b>うなずく</b> <b>あいの手を入れる</b><ul style="list-style-type: none"><li>・うれしかった。</li><li>・認めてくれたような気がした。</li></ul></li><li>○ <b>ほめる</b><ul style="list-style-type: none"><li>・分かってくれた。</li><li>・ありがたい。</li><li>・もっと話したくなった。</li></ul></li></ul>	<p>☆温かい空気が生まれる。 ↓ 空気はつくるもの</p>
---	--	--

# 人の話はどこで聞く？

6年 組 氏名 \_\_\_\_\_

**1. 相手が自分の方を見ず、何も言わずに聞いたときの気持ち**



**2. うなずきや合いの手を入れて聞いてもらったときの気持ち**



**3. ほめ言葉を入れて聞いてくれたときの気持ち**



**4. 今日の学習で大切だと思ったのはどんなことですか。**


〈第3時指導案〉

# 学級活動学習指導案

実施日 平成24年10月2日

6年〇組

指導者 長期研修員 河原 賢志

1. 『心の栄養』について考える

2. ねらい 温かい言葉やしぐさ(=心の栄養)の価値を理解し、実戦に向けて主体的に準備ができる。

〈常時指導へつながる指導〉

3. 準備 ワークシート①(心の栄養シート班活動用)、ワークシート②(心の栄養シート個人記入用)  
 掲示用紙(心の栄養シート)、付箋

4. 本時の展開

過程	学習活動(時間)	主な発問(予想される児童の反応)	支援及び指導上の留意点
導入	1. アイスブレイキングをする。 ・イエスノークイズ  2. 本時の目当てを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二人組を作りましょう。 右の人が答えます。(答え;田村先生) 左の人が答えます。(答え;大いちょう)</li> <li>・前は、聴くことやほめることによって温かい気持ちになれることを学びました。今日は心が温かくなる言葉やしぐさについて他にも考えましょう。</li> </ul>	
展開	2. 心の栄養シートの目的を知り、温かい言葉やしぐさ(=心の栄養)で埋める作業をする。 ①個人で考え、付箋に書く。 ②班で発表し合う。  ③全体で発表する。  ④自分の用紙に自分一人でもできそうだと思う心の栄養を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心が温かくなる言葉やしぐさを付箋に書きましょう。一枚に一つ書きましょう。</li> <li>・一人一つずつ発表し、用紙に貼っていきましょう。</li> <li>・班で出た意見を全体に発表してください。</li> <li>・自分らしさを考え、できるものを書きましょう。</li> <li>・書けた人は、一人ではできないけれど、二人ならできそうだと思うものを書きましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずしも、言葉に出して言わなくても温かい空気はつくれることを伝える。</li> <li>・ほめる、拍手など例示してから始める。</li> <li>・人の発表は温かく受け入れるように助言する。</li> </ul>
終末	3. 心の栄養シートの目的を確認し、日常生活の中で使うことを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温かい空気はつくるものだという話をしました。このことについて、毎日振り返りをしながらやってみましょう。</li> </ul>	

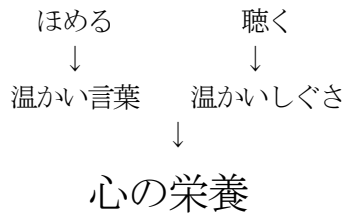
5. 評価

・温かい言葉やしぐさを幅広く考えて、実践しようとしている。(ワークシート)



6. 板書計画

温かい言葉やしぐさ



言葉で	しぐさで
おはよう	ほほえむ
さようなら	手を振る
ごめんね	笑う
ありがとう	うなづく
だいじょうぶ	合いの手を入れる
がんばれ	いっしょにやる
ごくろうさま	手伝う
がんばったね	よく聞く
ちゃんとこたえる	手を握る
さそう	肩を叩く
なまえをよぶ	ハイタッチ

みんなを  
 笑顔にしたい


心の栄養 シート 氏名

言葉で	しぐさで
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20

※「心の栄養」では相手や場面・環境に合った、うれしく感じられる言葉やしぐさを選んでください。

〈第3時ワークシート〉

送った人も  
送られた人も気持ちいい

“心の栄養” シート  氏名

言葉で	しぐさで
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20

※ “心の栄養”とは相手が温かい気持ちになったり、うれしくなったりする言葉やしぐさのことです。

〈第3時ワークシート〉

明日への

栄養カード NO. \_\_\_\_\_



氏名

- 1 どんな「心の栄養」を送れましたか。
- 2 どんな「心の栄養」をもらえましたか。
- 3 明日は、どんな「心の栄養」を送りたいですか。

月日	1・2・3	振り返り (いつ・だれに・どんなこと)
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		
/		

# あなたの印象

月 日

 	今週の	さんの印象に3つ○をつけましょう。		
		さん	さん	さん
1 明るい				
2 思いやりがある				
3 気づかいがある				
4 協力できる				
5 工夫できる				
6 公平だ				
7 さわやかだ				
8 正義感がある				
9 誠実だ				
10 頼りになる				
11 ていねいだ				
12 働き者だ				
13 やさしい				
14 ユーモアがある				
15 前向きだ				

☆今週の活動を振り返って（感じたこと・気づいたこと）

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
-------------------------------

〈第4時指導案〉

# 学級活動指導案

平成24年10月4日 第2校時

6年〇組

指導者 長期研修員 河原 賢志

1 「ナカマッテナンデスカ？」

2 本時のねらい

クラスは「仲間」関係にあることや、「誰に対しても」「日ごろから」仲間として接することの大切さを理解することを通して、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。

3 準備

ワークシート①（グループ用）、ワークシート②（個人用）、付箋

4 本時の展開

過程	活動の内容	指導上の留意点	資料等	目指す児童の姿と評価の方法
活動の開始	1 アイスブレイキングをする。 2 これまでの取り組みを振り返る。 3 本時のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が笑顔でリードし、楽しく活動できる雰囲気づくりをする。</li> <li>既習内容を掲示物で示し、大切なポイントのみをつかみやすくする。</li> <li>宇宙人の絵を掲示し、課題へのイメージが膨らむようにする。</li> </ul>	掲示物 ・既習内容 掲示物 ・宇宙人	
「仲間」の意味やあり方について考え、宇宙人の質問に返事を送ろう。				
活動の展開	4 宇宙人の質問に対する答えを考える。  ① 仲間の具体例を考える。  ② 仲間の特徴を具体例の共通点から見つけ出す。  ③ それぞれの仲間がもつ目標について考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     チキュウニハ、トモダチトハチガウ「ナカマ」トイウモノガイルソウダガ、ソレハドノヨウナモノカオシエテクレ。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>仲間のとらえ方が多岐に渡っても、それらを受け入れながら板書することで、多様な例を引き出す。</li> <li>思いついた考えを積極的に発表できるように、4人グループになり、付箋に書いて発表し、貼付する。 〈ワークシート①〉</li> <li>出された意見は否定せず、すべて貼るようにする。</li> <li>仲間の意味を国語辞典から紹介し、それぞれの仲間が目標をもっていることに気づかせる。 「仲間」…ともに事をする人（たち）</li> <li>良い目標、悪い目標を問わず、思いついた考えを自由に発言させる。</li> </ul>		<b>【思考・判断・実践】</b> ・「仲間」がもつ特徴を具体例から考え、積極的に発表している。（観察、ワークシート①）

	④目標を達成したときの結末を考える。	・自分も周囲も幸せになる仲間と、そうでない仲間があることに気づけるようにする。		
	⑤宇宙人の質問に対する答えを個人でまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語辞典の意味からクラスのことを「仲間」ととらえ、自分達が目指している目標の意味の重さを確認できるようにする。</li> <li>・仲間である限り、「だれに対しても」「日ごろから」という心がけが大切であることを確認する。</li> <li>・今日の学習をもとにして、宇宙人への答えを記述する。(ワークシート②)</li> </ul>	掲示物 ・だれに対しても ・日ごろから	<b>【知識・理解】</b> ・クラスが一つの目標に向かって、共に事をする「仲間」であることを理解している。(ワークシート②)
活動のまとめ	5 学習内容を常時活動に生かすよさを確認する。	・既習事項である「心の栄養」の活動についても、「仲間」として実践できることが望ましいことを確認する。		



〈第5時指導案〉

## 学級活動指導案

実施日 平成24年10月12日

6年〇組

指導者 長期研修員 河原 賢志

1. 「自分も相手も大切にする言い方」
2. ねらい 自分も相手も大切にする言い方のよさを理解し、自分なりに言い方を考えようとする態度を育てる。  
(常時指導へとつながる指導)
3. 準備 ワークシート① (グループ用) ワークシート② (個人用) 掲示用資料
4. 本時の展開

	学習活動(時間)	主な発問(予想される児童の反応)	支援及び指導上の留意点
導入	1. アイスブレイキング「ひたすらジャンケン」をする。 (5分) 2. 本時のめあてを知る。	・自分も相手も大切にする言い方について考えましょう。	・なるべく多くの人と行う。
展開	3. 自分も相手も大切にする言い方を考える。〈基本編〉(15分) ・様々な言い方とその印象を考える。 (ワークシート①)  4. 自分も相手も大切にする言い方を考える。〈応用編〉 (ワークシート②) ・実際の場面を想定して、相手に分かってもらえる言い方を考える。	<p>・「相手にあやまってもらいたいとき」ってどんな時がありますか。(壊された、汚された、悪口を言われた、けがさせられた、嘘を言われた)</p> <p>・具体的にどんな言葉で相手に伝えますか。グループで考えましょう。→発表 「あやまー」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>れ。れよ。って。ってよ。ってほしい。 ってほしいな。ってほしいの。ってくれ。 ってくれよ。ってくれないか。ってくれませんか。ってください。ってちょうだい。 ってくれない。</p> </div> <p>・あやまってくれそうもない〈分かってくれなそうな〉言い方がありますか。実際にいいながら考えましょう。(あやまれ。あやまれよ。)</p> <p>・それはなぜですか。(けんか腰だから、強い言い方をするから反発する。)</p> <p>・あやまってくれそうない〈分かってもらえそうない〉言い方がありますか。実際にいいながら考えましょう。(あやまってほしい。)</p> <p>・それはなぜですか。(相手にいていぬいに伝えているから。)</p> <p>・実際の場面について考えてみましょう。</p> <p>・相手について、分かってやれるところがありますか。(わざとではないこと)</p> <p>・ぜひ伝えたい自分の気持ちはありますか。(一生懸命作ったこと。大切にしていたこと。あやまってほしいこと。)</p>	<p>・できるだけ多くの言い方を考えさせる。</p> <p>・グループで考える。</p> <p>・ワークシートに記入する。</p> <p>・相手に伝わるような言い方をする必要があることに気づかせる。</p> <p>・自分を大切にできたか、相手を大切にできたかという視点で考えさせる。</p> <p>・相手の立場を考え、言葉を配慮する必要があることに気づかせる。</p> <p>・自分も相手も大切にしている言い方になっているか考えさせる。</p>



終末	言い方を考える。(15分) 5. 児童の感想をもとにまとめをする。(5分)		・互いに尊重した言い方のときだけ、温かさが伝わり、クラスが強くなっていく。
----	--	--	---------------------------------------

5. 評価

自分も相手も尊重する言い方について、そのよさを理解し、自分も言えるように考えている。

6. 板書計画

自分も相手も大切に				
ものを壊された、悪口を言われた、汚された、けがさせられた。 〈あやま〉	〈分かってくれる〉	〈分かってくれない〉		
	あやまってくれる	あやまってくれない		
	←	→		
	いばらない	いばる	言えない	自分も相手も大切にする 言い方で言ってみよう。
〈あやま〉	ていねい	きつい		
あやまって。あやまってよ。	自分○	自分○	自分×	
あやまれ。あやまれよ。	相手○	相手×	相手○	
あやまってちょうだい。				
あやまってください。				
あやまりなよ。				

# 自分も相手も大切にする言い方

6年\_\_組 氏名\_\_\_\_\_

○次の資料を読んで考えましょう。

あなたの大切にしている図工作品がこわれてしまいました。こわしてしまった相手(Aさん)は、自分がこわしてしまったことに気づいているのに、わざとではなかったためあやまろうとしません。Aさんはふだん友達に対して態度が大きいので、あなたからAさんに「あやまって。」とは言いにくいです。でも一生けん命作った作品なので、あなたはあやまってほしいと思っています。さて、どのように自分の気持ちを伝えたらいいでしょうか。

1. 相手の立場で、自分が分かってやれるところがありますか。線を引きましょう。
2. 自分の立場で、相手に分かってほしいと思う事がありますか。線を引きましょう。
3. 相手にあやまってもらうための言葉を、相手を傷つけない言い方で考えましょう。



4. 今日の学習を終えて、感じたことを書きましょう。 


## 学級活動学習指導

実施日 平成24年10月18日

6年〇組

指導者 長期研修員 河原 賢志

1. 「いじめが起こったら～君には何ができますか～」
2. ねらい いじめを個人の問題ではなく仲間の問題としてとらえ、自分たちにできることを、学級目標(人間関係に関するもの)をもとに考えようとする視点や勇気を育てる。〈常時指導へとつながる指導〉
3. 準備 イエスノークイズ用カード、いじめが起こったら(設定文)、クラスの状態(掲示用紙)ワークシート(グループ用)、既習事項の掲示用紙

### 4. 本時の展開

過程	学習活動 (時間)	主な発問 (予想される児童の反応)	指導上の留意点
導入	1. アイスブレイキングをする。 イエスノークイズ(5分)  2. 本時のねらいを確認する。 (5分)	1. グループ内でイエスノークイズをやりま す。自分のカードは額に当てて質問をし ます。制限時間は2分にします。  2. 今まで、「仲間の成長を目指すこと」を学 んできました。今日は「仲間のピンチを救 うこと」について学びます。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                         いじめがある事が分かりました。クラス が困っています。いじめは他の人を苦し める行動だからです。君には何ができま すか。                     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここではどんないじめだっ たかは問題とせず、クラス としての行動を考える。</li> <li>・いじめの起こっているとき のクラスの様子を図示し、 改善に向かうよう方向付け ができるようにする。</li> </ul>
展開	3. クラスでいじめを克服する 方法を、話し合う。 ①何ができるか方法を考える。 さらに、その方法がよいと思 うわけを考え、発表する。(10 分) ②その方法がうまくいかなか ったらどうするか考え、発表 する。(15分)	3. 何ができるでしょうか。 ①何ができるでしょうか。グループで作戦を えてみましょう。また、その方法がよいと 思うのはなぜですか。隣の欄に書いてみま しょう。 ②もしだめだったらどうしますか。 その前に一つ考えたいことがあります。 ・何でいじめを消さなければならないのでし ょう。(安心して生活するため)誰が?(全 員が) ・このクラスは、最後はどんなクラスを目指 しているのでしょうか。(仲間として進ん でいく。学級目標に向かっていく。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班の発表内容終了後に、 「見ている子」を「助ける子」 に「気づかない子」を「感じ とる子」に言葉を修正し、子 どもたちの発表のもつ意味 を肯定的に認め、勇気づけ る雰囲気をつくる。</li> </ul>
終末	4. まとめの話を聞く。(5分)  5. 感想を書く。(5分)	4. 今までの授業でみなさんが書いてくれた 感想(※資料1)を紹介します。その中に 大切なもののすべてが含まれていると思 っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の終わりに当たって、 仲間の成長を目指しながら も、仲間のピンチの際は、 乗り越えて本当の仲間にな れるように勇気づけを行 う。</li> </ul>

5. 評価

いじめについて、学級目標(人間関係に関するもの)や「仲間」の視点をもとにして、自分達にできることを考えることができる。

6. 板書計画

**君には何ができますか**

○仲間の成長を目指すには  
○仲間のピンチを救うには

いじめがある事が分かりました。  
クラスが困っています。いじめは他の人を苦しめる行動だからです。  
君には何ができますか。

○学級目標  
○クラスの全員が、また、仲間として進んでいけること。

分かってもらう。
分かってももらえたらうれしいな。
温かい言葉。温かいしぐさ。
だれに対しても。
日ごろから。
自分も相手も大切にする言い方。

〈資料1〉

○本時の展開「終末」の児童の感想

〈「感じる子」ということについて〉(「自分も相手も大切にする言い方」より；6年2組児童記述)

人は思っていることを言えないときもある。だから、動物がお腹空いてそうなときは、エサをあげるのといっしょで、人の心を分かってあげることが大切だ。

〈「助ける子」ということについて〉(「ナカマツテナンデスカ？」より；6年4組児童記述)

仲間とは一つの目標に向かってみんなで一つのことを成し遂げる人たちです。協力し、一丸となってやると絆が生まれ、みんなの目標が達成できたときみんなで喜び合うことができる、とても大切で、かけがえないものなのです。また、仲間の一人がトラブルにあえば仲間が励まし、必ず助けてくれます。

〈資料2〉ワークシート

いじめ～君たちは何ができるか～



\_\_\_\_\_ 班 メンバー①                      ②                      ③                      ④                      ⑤

I ○○をする	II その方法のよいところ	III もし だめだったら？	IV 最後に目指す クラスの姿は？